

けんこうニュース

発行所

奥津医院
南足柄市生駒381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一

足柄上医師会
訪問看護ステーション
二周年記念会



ツリーを飾る
(奥津直道画)

さる十月十八日（木）十八時三十分より、南足柄市共学館にて訪問看護ステーションの二周年を祝う会が開催された。

足柄上医師会員、市町代表者、関係施設職員など、ステーションのスタッフを合わせ四十四名のにぎやかな会となつた。

報告会のはじめに所長を勤める当院院長より発足して二年で組織的にも、経済的にも安定し、スタッフも七名から十二名になつたと報告、その後管理者の富田看護婦より常に五十名程度

の利用者のあることなどが報告された。

医師会で、訪問看護ステーションを運営する意義について討論があつた。

懇親会に入り、松田町島村町長、開成町露木町長より、介護保険実施にあたり医師会の訪問看護ステーションがあり心強かつたとた。

その後立食パーティーで話し合いが深められた。



県立足柄上病院との連携強まる

足柄上病院は、今年六月新病棟の発足とともに地域医療を推進するため病院としての位置づけられました。

地域医療連携室を発足させ、患者さんの入退院に関する相談や、いろいろな問い合わせに対応しています。連携の一つとして、がんの末期の患者さんが、できるだけ自宅で過ごすことができるようにして、ことで、足柄上病院から在

宅医療として、私達の診療所に紹介される患者さんが増えてきました。

最後は病院に入院する場合もありますが、自宅にそのままどまる方もあります。

足柄上病院と一般医療機関との患者さんの動きが、少しスマートになつてきました。

患者負担増（社会保険本人の窓口での負担を二割から三割にする）ことと医療機関に支払いを一%引き下げるなどを骨子とした来年度医療費改定案を政府は決定した。

患者負担が重くなるのだから医療機関も「痛み」を分かち合えということらしいが、負担が減るのは政府だけだ。

この対策のために、消費税を導入したのだ。消費税は増額しても、医療に対する負担を減らそうというので当然のことだ。

また、電子カルテのサポートの方も問題が解決し、正式運用に向けて動きはじめました。しかし、電子カルテシステムを実際に活用し、診療の能率アップをするためにはまだかなりの準備が必要です。

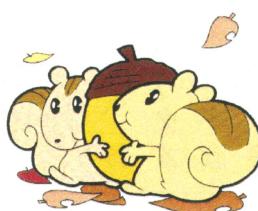
来年一月からの始動をめざして現在努力中です。

八月に故障した、コンピューターシステムのサーバーは修理を終わり機能を回復しました。

これで当院のシステムは機能する状態に戻りました。



奥津医院コンピューターシステム回復
電子カルテの準備進む



医療費改訂
湧言飛語



政府が一%という時はいつも実質三%以上になる。倒産する医療機関が多くなることだろう。

院長